

敬老の日 地域のお年寄りを祝う

9月19日の敬老の日にちなみ、町内の各自治会で、長寿を祝う催しが行われ、地域のお年寄りが集まり、お互いの健康を確認し合いました。

9月18日虻田1区で開かれた「長寿まつり」は、今年対象となる75歳以上のお年寄りが57人で、当日参加したのはそのうち38名。

参加した皆さんは、ごちそうを食べながらお互いの健康を気遣い、昔話に花を咲かせていました。



長寿を祝う虻田1区「長寿まつり」

100歳おめでとう

洞爺湖町では、来年の3月までに森光一さん（入1区）と和田あいさん（虻8区）が100歳を迎えます。森さんは、明治45年2月26日生まれで、和田さんは、明治44年9月12日生まれ。

9月8日綱嶋教育長が、お二人を訪ねそれぞれに花束とお祝いを贈り、長寿をたたえました。



綱嶋教育長から恐縮してお祝いを受け取る森さん



花束を渡されうれしそうな和田さん」

アイヌ民族伝統儀式 カムイノミイチャルパ開く

9月4日、

洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭（北海道アイヌ協会洞爺湖支部主催、妻木征男支部長）が入江1区集会所で開かれ、祭司木下梅雄さん（むかわ支部）の進行で、先祖代々の神など14の各々の神に祈りを捧げるカムイノミを実施。引き続きイチャルパが行われ、参加者全員で先祖の霊を供養し、慰霊祭を終了しました。懇談会では、むかわ支部の皆さんによりアイヌ古式舞踊が披露され、厳粛な踊りに見入っていました。

同支部の会員、室蘭や伊達、むかわの協会のほか真屋町長ら行政、教育関係者約50人が参加して先祖の霊を慰めました。今年も、台風12号の影響を考慮して、歴史公園にある先住民慰霊碑前でなく、同集会所での開催に踏みきました。



厳かに行なわれたアイヌ先住民慰霊祭

ツーデー マーチ

全国のウォーカー 初秋の洞爺湖を満喫

9月9日、10日、2日間にわたって秋の洞爺湖を歩く、北海道ツーデーマーチが開かれ、全国からのべ1,532人のウォーカーが参加し、健脚を競い合いました。

初日は、朝からの小雨も上がり、秋晴れの下で「とらやごらつと一周コース」（40キロ）に参加した約400人が、洞爺湖畔の会場からスタート。引き続き「洞爺湖・豊浦パノラマコース」（20キロ）を始め10キロ、2キロの各コースの参加者が出発し、雨上がりの澄み渡った湖畔の空気を満喫しながら、ゴールを目指しました。会場では、ロータリークラブの会員の皆さんが、オニオンスープを振舞い、歩



初秋の洞爺湖を満喫するウォーカー

き疲れたウォーカーの気持ちを和ませました。